

その他の活動

錯誤捕獲対応



シカやイノシシを捕獲するためのわなに、違う動物がかかることを錯誤捕獲と言います。クマを罠から解放する作業（町内11件、町外85件）を行いました。今年度は東信地区のみならず北信地区での対応もありました。

冬眠穴調査



標識を付けたメスグマの出産状況を把握するため、冬眠穴前にセンサーカメラを設置しました。今年度は、4頭の冬眠穴前にカメラを設置し、1頭が出産したことを確認しました。

「どんぐり返し」への参加



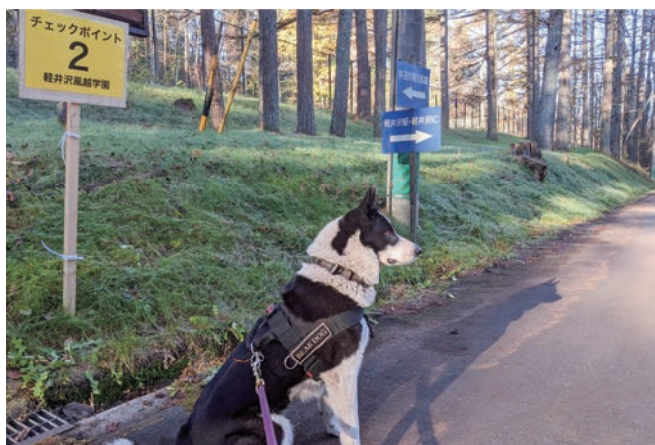
浅間山麓にもともと広がっていた広葉樹の森の復元を目指す「どんぐり運動の会」の活動に参加しました。地元の小学生が拾い集めたどんぐりを植え育てています。

小学校での教育活動



軽井沢町内の全小学校（4校）および幼稚園（1校）で、人と野生動物との共存について学ぶ特別授業を実施しました。動物の骨や調査道具を教材として使っています。

学校行事でのペアドッグによるパトロール



クマとの遭遇を未然に防ぐため、軽井沢町西部小学校八風山登山時や、長野県教育委員会から委託を受けた、佐久市望月少年自然の家でのペアドッグパトロールを行いました。

ニホンザルへの発信器装着



軽井沢町から委託を受けて、町内を遊動域とする群れの中から、群れを率いる優位のメスザルを特定し、2頭に電波発信器を装着しました。

実習・講義・視察



軽井沢町で行っている先進的なクマ被害対策の事例や、ペアドッグによる取り組みについて、クマの出没現場を回るなどして紹介しました。

【実習・講義・視察を行った学校及び団体】

- ・軽井沢西部小学校 ・軽井沢中部小学校 ・軽井沢東部小学校
- ・軽井沢中学校（職業体験） ・軽井沢高等学校（職業体験）
- ・森のようちえんびっぴ ・軽井沢風越学園
- ・軽井沢町野生鳥獣対策報告会
- ・御代田町塩野地区
- ・開成学園 ・東京ECO動物海洋専門学校
- ・大阪ECO動物海洋専門学校 ・福岡ECO動物海洋専門学校
- ・福岡ECO動物海洋専門学校 ・中央動物専門学校 ・筑波大学
- ・サレジオ国際学園中学校高等学校 ・専門学校ビジョナリーアーツ
- ・技建開発株式会社 ・野生動物医学会 ・環境省
- ・長野県望月少年自然の家 ・一般財団法人自然公園財団 上高地支部
- ・株式会社ういるこ ・株式会社星野リゾート

【キャンプ場等でのコンサルタント事業】

- ・Moving-inn Tokachi ・川上村
- ・武蔵野市立自然の村 ・長野県望月少年自然の家

ミズナラ、コナラ、クリの結実状況調査



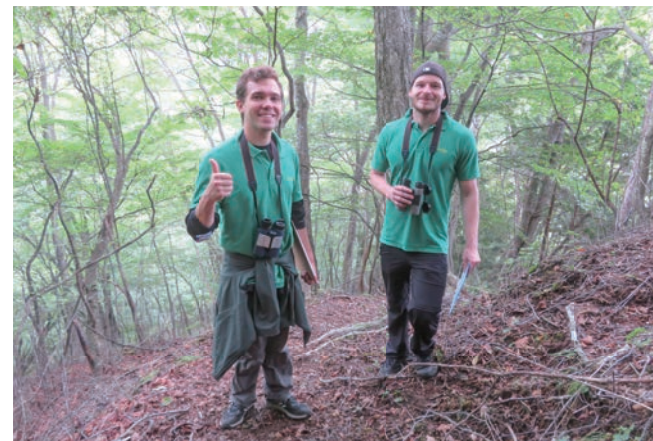
クマの夏の食物となるウワミズザクラとミズキ、秋の食物となるミズナラ、コナラ、クリの結実状況を調べました。インターン生ほか、皆様の力をお借りして実施しています。（P.4 参照）

ハクビシンの捕獲



野沢北高校の課外授業において、南相木村役場、地元猟友会の協力のもと、ハクビシンの捕獲及び発信器装着による行動追跡を行いました。ハクビシンは農作物を加害します。学生さん達により行動追跡を行い、駆除に頼らない別の対策を模索しました。

インターン研修



次世代の人材育成を見据えて、クマ保護管理について学ぶインターンシップの学生や社会人を受け入れました。2023年夏～秋に、日本国内外の大学や専門学校、社会人、計20名が参加し、クマ保護管理の現場を体験していただきました。

【インターン研修実績】

- ・麻布大学 ・米国ミドルベリー大学 ・信州大学
- ・帝京科学大学 ・東京農業大学 ・人間環境大学 ・早稲田大学
- ・Evergreen state college ・French school of Agronomy
- ・HAS Green academy ・La Trobe University
- ・Ngee Ann Polytechnic ・New York University
- ・Oxford University ・ROCvA ・University of Hawaii
- ・University of applied sciences Birkenfeld
- ・University of Sydney ・Wageningen University
- ・Washington University of Cumbria

【学会、シンポジウム等への参加、寄稿、情報提供】

- ・日本クマネットワーク公開シンポジウム「街に出るクマ～アーバンベアとどう付き合うか？わたしたちにできること～」
- ・群馬県立自然史博物館特別展「ぐんまの自然の『いま』を伝える」
- ・令和4年度筑波大学山岳科学センターシンポジウム「長野県の野生動物保護管理について考える」